第３号様式

（第１面）

事業活動地球温暖化対策結果報告書

（あて先）川崎市長

郵便番号　231-0007
住　　所　神奈川県横浜市中区弁天通6-85
氏　　名　株式会社　宇徳
　　代表取締役社長　喜多澤　昇　　印

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第１０条第１項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名又は名称	株式会社宇徳			
主たる事務所又は事業所の所在地	川崎市川崎区東扇島３０－３			
該当する事業者の要件	☑ 規則第４条第１号該当事業者			
	☐ 規則第４条第２号該当事業者			
	☐ 規則第４条第３号該当事業者			
	☐ 規則第４条第４号該当事業者			
	☐ 上記以外の事業者（任意提出事業者）			
主たる事業の業種	大分類	H	運輸業，郵便業	
	中分類	47	倉庫業	
主たる事業の内容	冷蔵倉庫における入出庫・保管業務			
事業者の規模	☑ 原油換算エネルギー使用量		1,594	ｋｌ
	☐ 自動車の台数			台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出の量			ｔ－CO_2
連絡先	担当部署	担当部署名	物流ソリューション部　施設開発チーム	
		所在地	東京都港区港南2-16-4	
	電話番号		03-5769-3802	
	ＦＡＸ番号		03-3450-5763	
	メールアドレス			

※受付欄		※特記事項	※事業者番号

計画期間及び報告年度	平成25年度　～　平成27年度　（報告年度　平成26年度分）
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添　指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添　指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添　指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添　指針様式第2号のとおり
備　　考	なし

備考　１　欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
　　２　□のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
　　３　報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
　　４　※印の欄は記入しないでください。
　　５　氏名（法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

様式第２号　　（第1面）

事業活動地球温暖化対策結果報告

１　温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第１号、第２号、第４号該当者等）

（１）温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア　計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第１年度	第２年度	第３年度	目標排出量
排出量	(実) 3,487 t-CO_2 (調) 3,479	(実) 3,298 t-CO_2 (調) 3,291	(実) 2,875 t-CO_2 (調) 2,869	(実) t-CO_2 (調)	(実) 3,382 t-CO_2
削減率		(実) 5.4 % (調) 5.4	(実) 17.6 % (調) 17.5	(実) % (調)	(実) 3.0 %

イ　計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	排出量／延床面積22,032		単位	t-co2/m2	
	基準年度	第１年度	第２年度	第３年度	目標年度の値
排出量原単位等の値	0.1583	0.1497	0.1305		0.1535
削減率		5.4 %	17.6 %	%	3.0 %

ウ　計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第１年度	全棟貸しのため、排出量はすべてテナントの事業活動によるもの。 省エネ・節電対策等により、排出量は減少した。
第２年度	全棟貸しのため、排出量はすべてテナントの事業活動によるもの。 省エネ・節電対策等により、排出量は減少した。
第３年度	

（２）温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

排出量原単位の値を年平均で1%削減する。

３　温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

（１）温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等（第１号、第２号、第４号該当者等）	計　画	（全棟貸しの事業所であるため、テナントと相談してできる項目から実施） 〇推進体制の整備…管理マニュアル、研修体制の整備 〇主要設備の保全管理…管理標準の作成 〇照明設備の運用管理…節電型ランプへの交換。
	第１年度	全社での管理マニュアル、管理標準を作成した。 設備の運用管理については、テナントと設備の管理委託先との間で、設備の運用改善の方法につき協議いただいている。
	第２年度	設備の運用管理については、テナントと設備の管理委託先との間で、設備の運用改善の方法につき協議いただいている。
	第３年度	
自動車等（第３号該当者等）	計　画	
	第１年度	
	第２年度	
	第３年度	

（２）再生可能エネルギー源等の利用実績

ア　再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

まずは計画期間のエネルギー消費量の推移を見守り、施設を継続する場合は、再生可能エネルギーの利用を検討する。

イ　計画期間の再生可能エネルギー源等の利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ　計画期間の再生可能エネルギー源等の価値の保有実績

種　　類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

４　他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計　画	なし
第１年度	なし
第２年度	なし
第３年度	

５　その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計　画	廃棄物の削減・分別の推進を図る。
第１年度	テナントにより、事業活動で発生した廃棄物の分別と削減推進を継続実施している。
第２年度	テナントにより、事業活動で発生した廃棄物の分別と削減推進を継続実施している。
第３年度	

６　前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

（１）事業者単位

ア　第１号、第２号、第４号該当者等

（実）	3,285	$t-CO_2$
（調）	3,229	

イ　第３号該当者等

（実）		$t-CO_2$
（調）		

（２）事業所等単位（第１号、第２号該当者等）

ア　年間の原油換算ｴﾈﾙｷﾞｰ使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類細分類番号	事業所に係る事業の名称	温室効果ガスの排出の量
東扇島冷蔵倉庫	川崎市川崎区東扇島30－3	4721	冷蔵倉庫業	3,285 $t-CO_2$
				$t-CO_2$
				$t-CO_2$
				$t-CO_2$

イ　年間の原油換算ｴﾈﾙｷﾞｰ使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類細分類番号	事業所に係る事業の名称	温室効果ガスの排出の量
				$t-CO_2$
				$t-CO_2$
				$t-CO_2$
				$t-CO_2$

ウ　年間の原油換算ｴﾈﾙｷﾞｰ使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

（３）事業所等単位（第４号該当者等）

ア　物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000ｔ以上（二酸化炭素の場合はｴﾈﾙｷﾞｰ使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類細分類番号	事業所に係る事業の名称	温室効果ガスの排出の量
				$t-CO_2$
				$t-CO_2$
				$t-CO_2$
				$t-CO_2$

イ　物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000ｔ未満（二酸化炭素の場合はｴﾈﾙｷﾞｰ使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	